

知事コメント

(東海北陸自動車道(飛驒清見 I C~白川郷 I C)の4車線化の候補箇所等の選定について)

令和6年3月1日(金)

富山県知事 新田 八朗

本日、国土交通省において、高速道路の暫定2車線区間の安全性・信頼性等の向上のため、来年度新たに着手する4車線化の候補箇所等が公表されました。東海北陸自動車道では、岐阜県の飛驒清見 I Cから白川郷 I C間のうち4.3 kmが4車線化候補箇所として、また、11.9 kmが準備調査候補箇所として選定されました。

東海北陸自動車道は、北陸地域と東海地域、日本海側と太平洋側とを結ぶ中部圏の大動脈であり、国土強靱化の観点からも極めて重要な道路であることから、県としてもこれまで岐阜県などと連携し、全線4車線化に向けて、積極的に取り組んできたものです。これまでの本県の官民挙げての熱意を十分に受け止めていただき、大変喜ばしく思っています。

これもひとえに、国会議員・県議会議員の先生や国土交通省、市町村長、経済界をはじめとする関係の皆様のお力添えの賜であり、深く感謝申し上げます。

「北陸の十字路」たる本県のさらなる発展のためには、東海北陸自動車道の早期全線4車線化の実現が必要であり、事業中区間の整備促進、残る飛驒トンネルを含む区間の早期事業化に向け、岐阜県や沿線市町村などと連携を強め、引き続き取り組みを進めてまいります。